

小林史和（NTN）貞廣千波（三重陸協）が第3位 坂直哉（名城大）が大健闘

（第88回日本陸上競技選手権大会三重県関係入賞者一覧）

第3位	男子1500m	小林史和（NTN）	3分46秒45
	女子走高跳	貞廣千波（三重陸協）	1m80
第7位	男子3000mSC	春田真臣（NTN）	9分00秒46
	男子ハンマー投	久保幸弘（三重県教員ク）	61m11
第8位	男子400m	北岡慶昭（三重陸協）	46秒93
	男子800m	坂直哉（名城大）	1分53秒33

女子マラソンの野口みずき（グローバリー）を追いかけて、アテネを目指した鳥取での日本選手権。野口以外に三重県からはオリンピック選手を輩出することはできなかったが、ベテランと新鋭が力を発揮し、6名の入賞者を出すことができた。

アテネへの夢が破れ、悔しい思いをしている選手が多いと思うが、今年の秋のシーズンはあるし、来年には世界選手権もある。新しい目標を定めて、頂点を目指して精進してもらいたい。

予選で1分51秒86の自己新を樹立し、初めて入賞した坂直哉選手は今回の活躍を励みとして、日本の一線級の仲間入りができることを期待している。

日本ジュニアで6名が入賞 一柳は三重県高校新樹立

（第20回日本ジュニア陸上競技選手権大会三重県関係入賞者一覧）

第5位	男子400mH	濱口和也（京都産業大）	52秒83
	男子走幅跳	竹内一真（関西学院大）	7m16（+0.9）
	女子円盤投	井坂恵里那（宇治山田商高）	43m11
第8位	女子400m	川瀬範子（桑名高）	58秒01
	女子800m	一柳りえ（神戸高）	2分11秒17
			予選2分10秒96
			（三重県高校新記録）
	女子砲丸投	久保雅世（宇治山田商高）	12m60

学生の二人は強豪ひしめく中でよく実力を発揮した。前号で紹介した井坂は一時はトップに立っていた。一柳は10年ぶりに三重県高校記録を更新した。